

屋久島県

「平成22年度政務予算等に
関する提案・要望事項」4/

⑦

82 米軍機の低空飛行の速やかな中止 (外務省)

県民生活への影響が生じないように米軍機の低空飛行の速やかな中止について提案・要望します。

提案・要望の内容

繰り返される米軍機の低空飛行が安心・安全な県民生活に深刻な影響を与えている実情に鑑み、県民が生活している地域での低空飛行を行わないよう米軍等の関係機関に強く申し入れること。

現状と課題

○ 米軍機の低空飛行についての住民等からの目撃情報

(平成22年11月10日現在)

	低空飛行の目撃情報		うち米軍機の飛行事実が確認された事例	
平成18年度	2件		1件	
平成19年度	8件		1件	
平成20年度	15件		4件	
平成21年度	22件		11件	
平成22年度	12件		9件	
米軍機の 飛行事実が 確認された 事例	日	時	場 所	情報源
	5月20日(木)	20時30分	薩摩川内市	市
	10月12日(火)	18時25分	薩摩川内市	市
	10月12日(火)	18時26分	薩摩川内市	市
	10月12日(火)	18時40分	日置市	住民
	10月12日(火)	21時05分	薩摩川内市	市
	10月13日(水)	6時30分	薩摩川内市	市
	10月14日(木)	18時56分	薩摩川内市	市
	10月14日(木)	19時30分	薩摩川内市	住民
	10月16日(土)	20時32分	薩摩川内市	市
	10月20日(水)	20時35分	薩摩川内市	市

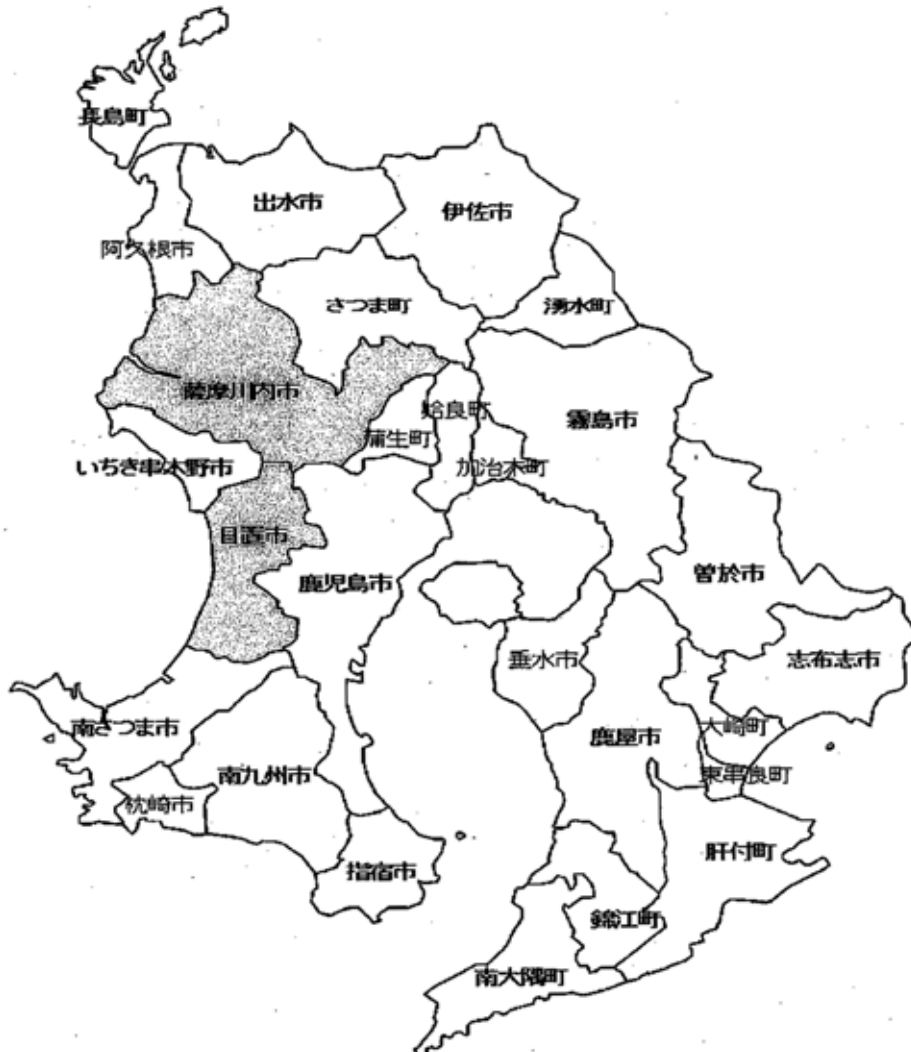
年々増加傾向にあり、本年10月に9件の目撃事例が確認されている。

○ 国会質問で明らかになった事例

「屋久島空港で平成18年から平成21年までの4年間に、米軍機が低空で接近するロー・アプローチ訓練を計15回行っていることを把握。かなり危険を伴い、日米地位協定上許容されていない。」との答弁あり。

(平成22年2月25日、衆議院予算委員会分科会での日本共産党・赤嶺政賢議員の質問に対する岡田克也外務大臣の答弁。)

○ 米軍機の低空飛行目撃地域



○ 当県の取組状況

- ・平成21年7月24日、知事が外務省に、日米合同委員会合意の遵守等を米軍等の関係機関に申し入れるよう要請した。
- ・平成21年8月、全市町村に対し、県の通報先を明確にするとともに、飛行方向、飛行高度、飛行機の特徴等の項目からなる統一様式を定めてより多くの具体的な目撃情報が提供されるよう要請した。
- ・平成21年11月19日、県開発促進協議会会長(県議会議長)と知事が外務省に、県民が生活している地域での低空飛行を行わないよう米軍等の関係機関に強く申し入れるよう要望した。